

心遣いに感謝いたします Vol.9

11月29日(月)。今朝は、最低気温3℃と大変冷え込み、吐く息が白かったです。その後、透き通る青空のもと、徐々に気温が上がり、小春日和になりました。しかし、今朝のニュースでは、今日が、今季最後の小春日和だそうです。これから、冬に向かってまっしぐらといったところでしょうか？

さて、巷では、これもニュースで、海外9か国で、新型コロナウイルスの新たな変異株『オミクロン株』が見つかったとのこと。国内での感染者数激減の明るいムードもどこかに隠れてしまうほどの衝撃を受けました。水際対策で防げるとよいですが、心労がいつまで続くのか、自然と心配な気持ちが込み上げてきます。

さて、今日から個人懇談会がはじまりました。また、来週の木・金曜日には6年生の修学旅行があります。どちらも、大切な行事です。無事にやり切りたい思いで一杯です。

校長室に生けられた、桃色の花は、スプレー菊です。また、背後にある枝ものは、長持ちしている彼岸桜。この彼岸桜。見事に数輪咲いてくれました。小さな白い5枚の花びらがとてもきれいでした、そして、今日、新たに生けていただいたのは、モミジです。モミジもそろそろ見納めの季節になりました。季節の移ろいは早いですね。



児童下足室前の廊下の隅に生けられた、中央は、紅葉美しいモミジ。背後は、彼岸桜です。そして、下の裾野に広がる目の覚めるような黄色の花は、オンスジウムです。オンスジウムは、ラン科の植物で、カラーバリエーションが豊富ですが、黄色がオーソドックスです。シンビジウムとともに、これから園芸店にギフト用として並ぶ、人気の花です。

右の2枚の写真は、正門付近でとった写真です。右上の木は、葉をすっかり落とした桜の木。これから厳しい冬にエネルギーをためて3月下旬から咲きほこる国花です。左下の写真は、冬花壇のづくりのためにしばらく寝かせている様子を撮ったものです。どんな花壇になるか、今からワクワク感が止まりません。



花を愛でる。季節を愛でる。

環境づくりは人づくり。感謝申し上げます。